

様式第 1 (第 5 条関係)

受付番号	※
------	---

電気工事士法第 4 条第 3 項第 2 号の認定申請書

年 月 日

愛 知 県 知 事 殿

申請者 住 所 _____

フリガナ _____

氏 名 _____

生年月日 昭和・平成 年 月 日 生

電気工事士法第 4 条第 3 項第 2 号の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。

申請に係る電気工事士免状の種類		第 一 種電気工事士免状	
◎ 電 工 事 に 関 す る 資 格	電気工事等に関して合格した試験、検定、免許、免状又は認定	試験、検定、免許、免状又は認定の種類 (該当するものに○)	1 第 一 種電気主任技術者 (種別記入)
			2 高圧電気工事技術者試験合格 [昭和 37～63 年実施]
			3 電気工事技術者検定 (高圧) 合格証 [昭和 36～38 実施]
		資格取得年月日	昭和・平成 年 月 日
	電気工事士法施行規則第 2 条の 4 第 1 項に規定する電気に関する工事の経験年数	年 月 (高圧合格の方、3 年以上)	
	電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数	年 月 (電気主任技術者の方 5 年以上)	
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

(備考)

- この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
- ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。
(免状・合格証等の写し、実務経験証明書)
- ※印欄には、記入しないでください。

交付番号	※1-
交付番号	※

電気工事士免状交付申請書

年 月 日

愛知県知事殿

(〒 -)

申請者 住所

フリガナ

氏名

生年月日 昭和・平成 年 月 日生


電気工事士法第4条第2項の規定により第一種電気工事士免状の交付を受けたので、次のとおり申請します。

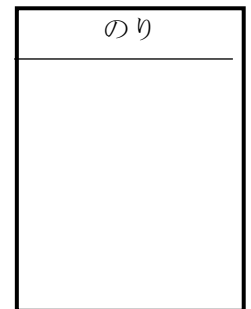
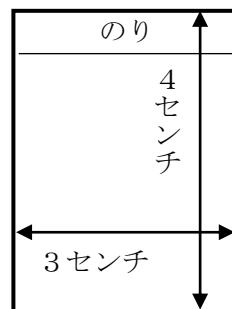
電気工事士免状を受ける資格	1. 第一種電気工事士試験に合格し、かつ、実務経験を有する 2. 認定 (該当する番号に○をつけてください。)
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄
昼間連絡先 (電話)	() - () (該当するものに○) 携帯電話・自宅・勤務先等 (名称:)

【写真貼付欄 (2枚必要)】

【愛知県収入証紙貼付欄】
6,000円分

- ・割印、消印はしない
- ・郵便局等で販売している収入印紙は不可
- ・重ねて貼らない
- ・愛知県証紙の販売所は手続案内参照





↑この枠より小さな写真は受付できません。

(備考) ※印欄には、記入しないでください。

実務経験証明書

事前審査受付番号 (ー)

※ (枚中 枚)

ふりがな		生年月日	昭和・平成 年 月 日		
氏名					
現住所	〒 ー	電話 (携帯可) () ー			
現在の勤務先の名称及び所在地	名称 〒 ー 所在地	電話 () ー			
実務経験の期間及び内容					
①期 間	④職務の内容				
年 月 日～ 年 月 日	左の期間、電気工事士法第4条第3項第2号に定める電気に関する工事を経験しました。(主な内容は下記のとおりです。) ※ 該当する番号を○でかこんでください。 1 第二種電気工事士免状取得後、一般電気工作物の配線工事等 ・ 第二種電気工事士免状の交付番号・年月日 ____ 県第 号 昭和・平成 年 月 日交付 2 自家用電気工作物の配線工事等 (最大500kw以上のもの) 3 その他 ・ 2又は3は、職務の内容を具体的に記入してください。				
年 月 日					
②所属部署及び役職					
③主な工事場所の設備概要					
ア 工事施行場所名 イ アの施行場所の ・ 受電電圧 V ・ 契約電力 kw					
工事实施件数約 件					
※ 申請に必要な実務経験の年数 3年・5年 上記のとおり、実務経験を有することを証明します。 年 月 日 電気工事業法の登録又は届出番号 (実務経験が1一般電気工作物の方は必須) (県知事・大臣・局長・保安監督部長 登録・届出第 号) 注:「般一〇〇」「特一〇〇」の建設業番号ではありません。					
証明者 住 所 法 人 名 (又は屋号) 代 表 者 氏 名 (又は氏名)		印			

※代表者以外の証明の場合の委任状提出確認印 ()

※は記入しないこと。